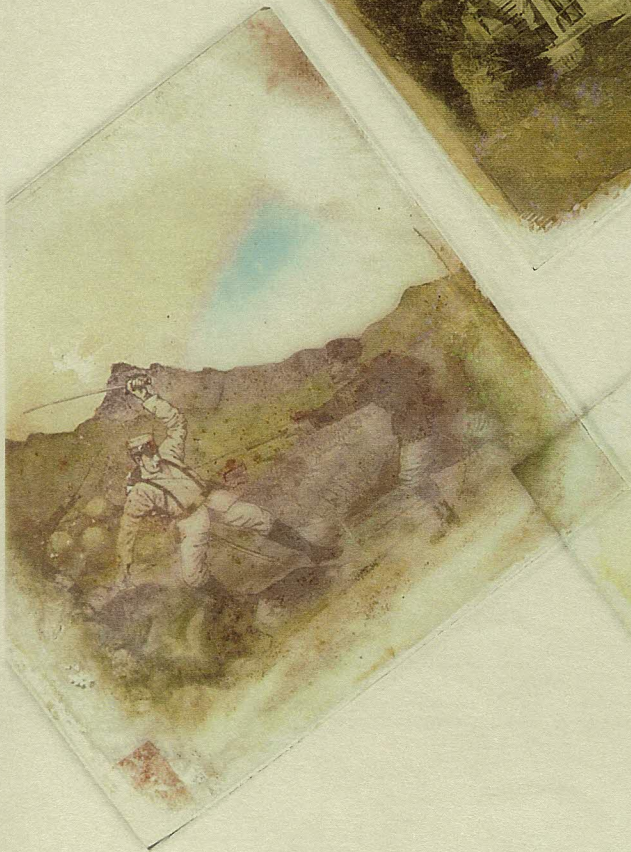


平成11年度第2回企画展

ガク不絵にみる明治時代

5/12~6/13



宮代町郷土資料館

開催にあたって

平成11年度第2回企画展『ガラス絵に見る明治時代』では、この時代に使われていた人工着色されたガラス写真とガラス絵を展示いたします。

着色写真とは現代のようにカラーフィルムやカラープリントが普及する以前に使われていました。鶏卵紙、またはガラス板の幻灯写真に色彩を人工着色したものです。これと同様にガラス絵は当時の社会情勢や風刺画等が細い毛筆で描かれ、水彩用絵具などを使用し着色していました。

写真には主に名所風景、お寺や神社、風俗、肖像などがあり、土産写真としてかなり普及していました。当時は幻灯機を使用して時事問題を扱う教育の場でも使われていました。現代からは「目でみる明治」の、資料性の高い役割を果たしている作品が多いと言えます。

最後になりましたが、企画展を開催するにあたり、当館に貴重な資料を寄贈され出品することに快くご承諾いただいた矢部豊氏に心よりお礼申し上げます。